

研 究 テ ー マ	小児慢性特定疾患患児および障害児の在宅療養を支えるためのモデル事業
研 究 目 的	慢性疾患や障害をもった子ども達の在宅療養を促進するため、入院医療から在宅医療への移行期に焦点をあて、その実態と課題を明らかにすることを目的とした
研 究 方 法	以下の3つの方法で研究を行った 1. アンケート調査:全国から無作為抽出した医療機関(1)、便宜的に抽出した全国の訪問看護ステーション・訪問看護部(2)を対象とした郵送調査 2. 事例調査:在宅移行を実施している入院施設および小児の訪問看護を実施している訪問看護ステーション10箇所への面接調査 3. 病院や訪問看護ステーションに勤務する看護師を対象とした研修会の開催
結 果 及 び 考 察	3つの研究方法より、以下にそれぞれの結果が得られた 1. (1)医療機関では、小児の在宅療養を支援する中でその体制が少しずつ模索され始めていた (2)小児の訪問看護の実態と課題が明らかになった 2. 小児の在宅療養・訪問看護に関連する7つの要因が抽出され、訪問看護推進のための方略について検討した 3. 小児慢性疾患患児・障害児の在宅療養推進における臨床現場における課題、現在活用している医療的ケアに関する看護マニュアルについて意見交換を行った
研 究 助 成 金 名	平成11年度 社会福祉・医療事業団助成事業